

承合事項1 新聞及び雑誌の廃棄方法について

本学では、新聞及び雑誌の保存年限が過ぎたものについて、通常のゴミの廃棄方法で廃棄しています。しかし、かなりの量の資源ゴミを廃棄するため、廃品回収に出してはどうかという意見も出ています。そこで、皆様方の図書館では、どの部署がどのように処理をされているのかをご教示ください。

(広島都市学園大学 提出)

	1.保存期限が過ぎた新聞・雑誌について、リサイクルとして利用者に無料で提供していますか？ ア リサイクルをしている イ リサイクルはしていない ウ その他()	2.リサイクルをされている図書館では、その対象者はどこまでですか？ ア 教職員及び学生のみ イ 一般の利用者も含める ウ その他()	3.新聞・雑誌の廃棄の担当部署はどこですか？ ア 図書館 イ 図書館以外の部署()	4-1.新聞・雑誌の廃棄方法について教えてください。 ア 通常のゴミとして廃棄 イ 廃品回収に出し現金化している ウ その他()	4-2.廃品回収に出し現金化している場合、そのお金は何に使用していますか？ ア 図書館の資料を購入 イ 図書館のイベント ウ その他()
広島大学	イ		イ 共通事務室管理担当(いわゆる管財セクション)		ウ 大学全体の収入になるので図書館では使用できない
尾道市立大学	ア リサイクルをしている	イ 一般の利用者も含める	ア 図書館	ウ その他(古紙回収業者に持ち込み)	
県立広島大学	ア 雑誌のみリサイクルをしている	イ 一般の利用者も含める	廃棄作業は各部署が行う。	ア 通常のゴミとして廃棄	
広島市立大学	ウ 海外新聞と雑誌については、除籍本と合わせて、教員→学生の順に有償譲渡を行い、残りはリユース市(大学祭初日開催)にて一般市民に販売している。	イ	イ 総務室	ア	
福山市立大学	イ リサイクルはしていない	該当なし	イ 図書館以外の部署(事務局総務課)	ア 通常のゴミとして廃棄	該当なし
エリザベト音楽大学	雑誌…永年保存 一般新聞…イ		ア	一般新聞…ア	
日本赤十字広島看護大学	ア	ア	イ 経理課	ア 月1で経理課が回収を依頼している	
比治山大学	ア	ウ 教職員、学生、非常勤教職員、元教職員 新聞については、授業、調理実習、食堂、大学祭などへも提供しています。	ア	ア	
広島経済大学	ア. 昨年度初めて一部の雑誌をリサイクルしました。	イ.	イ (総務部管財課)	ア	
広島工業大学	ア 一般雑誌の一部については無料で利用者に提供している。それ以外については業者を通して廃棄している。	ア ただし、学生優先	イ 財務部	ア	
広島国際大学	ア	イ	イ(外部委託 清掃業者)	ア	
広島国際学院大学	ア リサイクルをしている	イ 一般の利用者も含める	ア 図書館	ウ その他 社会福祉法人に回収を依頼している。	
広島修道大学	ウ 新聞はリサイクルしていない。消耗品扱いの雑誌は利用者に自由に持ち帰ってもらっている。	イ	ア	ア	
広島女学院大学	ア リサイクルをしている(雑誌)なお新聞については英字新聞等希望があれば教職員、学生に提供している。	イ 一般利用者も含める(雑誌)	イ 図書館以外の部署(庶務課)	イ 廃品回収に出し現金化している(従来は町内会から廃品回収に出し現金は町内会に納めていた。今年の6月からは町内会から廃品回収に出さず、現金は学校会計に納める予定。	
広島都市学園大学	イ リサイクルはしていない		イ 図書館以外の部署(総務課)一度に大量のゴミが出るため、総務課に日時を伝達し、指定された場所に出している。	ア 通常のゴミとして廃棄	
広島文化学園大学	ア リサイクルをしている	ア 教職員及び学生のみ	ア 図書館	ア 通常のゴミとして廃棄	
広島文教女子大学	イ 教員から希望があれば、廃棄対象の新聞を提供することが		ア	ア	
福山大学	ア	イ	ア	ア	
福山平成大学	イ		イ(庶務課)	ア	
安田女子大学	ア 主に新聞。利用したい部門・個人が図書館保管場所へ引取りに来る。	ア	ア	ウ その他(事業ゴミとして他部門の廃棄物と同様週1で回収)	
近畿大学工学部	ア 雑誌:年2回、期間を設けて無料配布を行っている。(保存期間2年) 新聞:希望の申出があった場合のみ配布を行っている。(保存期間4か月)	ア	ア	ア	
海上保安大学校	イ		ア	ア	
山陽女子短期大学	新聞 イ 雑誌 ア	ア	新聞 イ(事務局) 雑誌 ア	ア	
鈴峯女子短期大学	ウ (一部は利用者に提供しているが、残ったものについては、業者に廃品回収してもらっている)	ア	ア	イ	ウ (契約ゴミ処理業者が廃品回収分を減額して請求している。)
呉工業高等専門学校	イ リサイクルはしていない		ア 図書館	ウ その他(廃品回収に出し、代金については振込みをしてもらっている)	ウ その他(学校としての入金となるため、図書館として特別に使用することはありません)
広島商船高等専門学校	ア リサイクルをしている	ア 教職員及び学生のみ	ア 図書館	ア 通常のゴミとして廃棄	

承合事項2 図書館職員における司書資格の必要性について

図書館業務を行う職員は司書資格を有することは必然であると考えており、現在本学では雇用形態は違っても全員が司書資格を持っています。しかし管理職等からは図書館職員全員が司書資格を有する必要はないとの意見もあり、その対応を模索しているところです。つきましては、各大学の図書館職員の司書資格の現状や問題点などをお尋ねしたいと思います。

(広島女学院大学提出)

	館員は何名ですか？(館長・アルバイトは除く、但し派遣職員は含む)	学生数、学部数及び学科数を教えてください。	館員の職務内容、専任・嘱託・派遣の内訳、役職及び司書資格の有無について教えてください。	司書資格の必要性や問題点について教えてください。	課長は管理業務が主となりますが、司書資格は必要と思われるか？その理由を教えてください。
広島大学	54名	【学生数】(平成27年11月1日現在) 大学院: 4,316名 学部: 10,933名 【学部数】 11学部 1専攻科 25学科・類	()内の数が司書資格保有者数 【部長】1名(1) 【企画グループ】10名(4) 【整備グループ】18名(12) 【普及グループ】25名(18) 専任職員28名(20) 契約職員26名(15)	広島大学では司書資格の保有は図書館職員として採用するための必須項目ではない。ただし、図書系の専任職員として採用されるには、図書系の専門試験に合格する必要がある。今日、大学図書館の業務は多岐にわたり、司書講習でカバーしていない業務も多く含まれている。ただ、司書資格を取得することで、大学図書館の基本的な業務である閲覧、参考調査、目録、受入などの知識や実務能力を得ることができる。そのため、採用、あるいは異動後に即戦力として閲覧、参考調査、目録、受入などの業務に携わるのであれば、司書資格を持っている方が望ましい。	課長職はマネジメント業務が主になるため、司書資格は必ずしも必要ではない。ただし、担当範囲の業務全般についての知識は必要である。
尾道市立大学	4名	【学生数】 大学院: 30名 大学: 1,383名 合計: 1,413名 【学部数】 2学部3学科 経済情報学部—経済情報学科 芸術文化学部—①日本文学科 ②美術学科	* 司書資格有は○ 【専門員:業務全般】1名:専任(○) 【事務職員:主に庶務】1名:専任 【事務職員:主に受入】1名:嘱託(○) 【事務職員:主に相互利用】1名:嘱託	【必要性の高い業務】 ①相互利用業務、資料の選定。②利用ガイダンス、キャリア教育の授業等での学生との関わり。③資料の分類作業。④古文書などの取扱いの研究。⑤機関リポジトリや資料研究など、長期的に専門性を高める必要のある業務。⑥図書館実習の受入・指導(司書資格が必須の場合あり)。 【問題点】 継続的な司書有資格者の育成について、職員採用のことも含めて課題がある。	図書館業務全般を把握する必要があるため、有資格者が望ましいと思います。
県立広島大学	広島キャンパス:9名 庄原キャンパス:5名 三原キャンパス:5名	【学生数】 大学院:204名 大学:2,498名 合計:2,702名 【学部数】 4学部11学科、1専攻科	* 司書資格有は○ 広島キャンパス 【課長】1名:専任 【係長】1名:専任(○) 【情報処理】1名:専任 【受入】2名:臨時(1名○) 【閲覧】4名:臨時1名、派遣3名(○) 庄原キャンパス 【課長】1名:専任 【係長】1名:専任 【閲覧】2名:派遣 【業務全般】1名:臨時(○) 三原キャンパス 【課長】1名:専任 【係長】1名:専任(○) 【閲覧】2名:派遣(○) 【業務全般】1名:臨時(○)	・カウンター業務には、原則、司書有資格者又は図書館業務経験者の派遣を求めている。 ・図書館部門担当係が情報部門を兼務しており、管理職以外の正規職員が広島キャンパス1人である現状では、専門的職員としての司書を配置することは困難。	図書館専属の課長は配置されていない。
広島市立大学	12名	【学生数】 大学院:276名 大学:1,770名 合計:2,046名 【学部数】 3学部7学科	主幹:1名、専任、司書資格有、統括 主事:1名、専任、司書資格無、庶務・経理 司書:10名、嘱託、司書資格有、図書館業務全般	有資格者であることが望ましいが、近年、情報処理分野や広報活動、ガイダンスなど様々なスキルが求められており業務も多様化しているため、図書館の可能性を広げていくためにも全員が有資格者であることにこだわらなくても良いと思う。	組織体制によるが、管理者に司書が不在の場合、図書館運営に支障をきたす可能性もあるので、管理者ライン(館長、室長、主幹)のうち、いずれか1名が司書であれば良いと思う。

	館員は何名ですか？(館長・アルバイトは除く、但し派遣職員は含む)	学生数、学部数及び学科数を教えてください。	館員の職務内容、専任・嘱託・派遣の内訳、役職及び司書資格の有無について教えてください。	司書資格の必要性や問題点について教えてください。	課長は管理業務が主となりますが、司書資格は必要と思われるか？その理由を教えてください。
福山市立大学	7人	【学生数】 大学院:17人 学部:1,058人 合計:1,075人 【学部数】 2学部2学科 教育学部－児童教育学科 都市経営学部－都市経営学科	【業務全般】2人:専任(○) 【閲覧・目録】4人:嘱託(○) 【目録】1人:臨時(○)	図書館業務は、膨大な著作物及び個人情報適切に取り扱うこと、利用者からの多種多様な情報要求に応えること、図書資料を体系的に整理及び提供、保存することが求められる業務である。これらの図書館業務を遂行するにあたっては、司書過程を通じて、専門的知識の習得及び演習や実習での実践的な能力の涵養のほか、強い倫理観と職業意識といった素養を備えることが必要である。そのため、司書資格を有さない職員においては図書館業務を十分に果たすことが困難である。これらことから、図書館職員には司書資格者を充てる必要があると考える。	質問中の“課長”が図書館担当部署の管理職を指すのであれば、本学では図書館が単独の部署(部・課)ではないため該当しない。本学では学生担当の“次長”が図書館担当を兼務しており、司書資格を有していない行政職員ではあるが、行政的知識と人脈を備えており、学内の他部署や市の他部署との連携を図るうえでなくてはならない存在である。よって、管理職の司書資格の是非については、組織の形態及び規模に応じて判断するべきではないかと考える。
エリザベト音楽大学	3名	【学生数】 大学院:36名 大学:264名 合計:300名 【学部数】 1学部2学科 音楽学部－①音楽文化学科 ②演奏学科	専任職員1-司書資格有り 嘱託職員1-司書資格有り 嘱託職員2-司書資格無し 3名で協力して図書館業務全般に取り組んでいる。	本学は音楽の単科大学であるため、司書資格があり、なおかつ音楽の専門知識を有することが望ましい。 以前、3年間業務委託をし司書資格者が派遣されたが、音楽の専門知識がないため、レファレンスができない、楽譜やAV資料の分類ができない等の大きな問題があり、司書資格を有していても役に立たない場面が多々見受けられ、大学図書館で専門知識を有しないことは致命的だと実感した。 現在は3名の内2名が司書資格者、3名とも音楽大学卒業で専門知識を有しているため、日々の業務は円滑に行えている。	本館は現在、館長以外の管理職を置いていないが、以前、主任職を置いていた時は司書資格者が務めていた。管理業務及び図書館業務全般に、非常に的確に対処していたので、司書資格を有していることは意義があった。
日本赤十字広島看護大学	4名 (内1名:夜間半日勤務)	【学生数】 大学院:26名 大学:572名 合計:598名 【学部数】 1学部1学科 看護学部－看護学科	* 司書資格有は○ 【参事】1名:専任(○) 【主査】1名:専任(○) 【閲覧】1名:嘱託(○) 【夜間】1名:嘱託(なし 夜間半日勤務)	【必要性】司書資格を有する職員は、図書館に関する様々な知識をもち、仕事に対するモチベーションが高い。このことが、利用者に対して満足度の高いサービスを提供することとなる。 【問題点】人事異動の機会が少なくなる。	【司書資格は必要】図書館管理業務は、図書館全体を俯瞰する視点が必要となるため、司書資格のある管理職が望ましい。
比治山大学	5名	学生数 2,105名 学部 3 学科 8	課長:図書業務総括 専任 資格あり 主任:研究図書・大学図書、アルバイト指導担当 専任 資格あり 主事:ILL・短大図書担当 専任 資格なし 臨時職員:大学図書、雑誌、利用指導担当 資格あり 臨時職員:消耗図書、紀要、館内装飾担当 資格なし	図書館の基本がわかっているという点では、資格があるのがいいのは当然ですが、人事面でそこにこだわると学内で有資格者は限られており異動を考える場合、難しくなるのではないのでしょうか。	本学の場合は、課長といえども平常業務に関わらないと業務が回らないという現状なので、有資格の方が良いと思います。館員数が多い大規模大学で、異動が多い場合は、核となる館員がいれば、必ずしも有資格にこだわる必要はないように思います。
広島経済大学	9名 (内:契約職員3名)	【学生数】 大学院:12名 大学:2,803名 合計:2,815名 【学部数】 1学部5学科 経済学部－経済学科、経営学科、ビジネス情報学科、メディアビジネス学科、スポーツ経営学科	* 司書資格有は○ 【部長】1名:専任(○) 【受入】1名:専任(課長補佐:○) 【目録】2名:専任1(○)契約職員1 【閲覧】4名:専任(○)課長補佐1、主任1、契約職員2 【雑誌】1名:専任(○)	【必要性】 図書館員の専門性を担保できる資格として司書資格は必要と思われる。司書に限らず、国立大学の図書館員専門試験や、大学図書館支援機構(AAL)の認定試験なども図書館員の専門性を担保できるのではないかと。 【問題点】 司書資格のみで図書館員の専門性が担保される訳ではない。OJTという仕事をしながら必要なスキルを身に付けさせることが必要。特に管理職は、司書資格に加えてマネジメント能力は、必須。	必ずしも必要とは思いませんが、図書館の業務を理解できない管理職では、図書館の管理はできないと思います。図書館スタッフが、専門性を備え、管理職をサポートできる体制がとられていければ、マネジメント能力のある管理職であれば、全然問題ないと思います。司書資格は、その人のスキルを保証するものではありません。
広島工業大学	7人	学生数:約4600 学部数:4 学科数:12	専任:2名(事務長、閲覧等) 契約・派遣:6名(庶務、受入、閲覧等) 業務委託:2.6名相当(整理、夜間の閲覧) 司書有資格者は5名(委託を含まず)	司書有資格者が望ましいが、派遣等では必ずしも適任者がいないので無資格者も可としている。	司書資格がある方が望ましいと考えるが、研修等を通じた図書館に関する知識の習得を前提とすれば、必須とまでは言えない。
広島国際大学	16名(委託職員を含む、館長は教員と兼職のため含まず)	・学生数 4,389名 ・学部数 8学部 ・10学科	【職務内容】 ・庶務係 ・図書係 ・図書利用係 【専任・嘱託・派遣の内訳】 ・専任 2名 ・委託職員 14名 【役職及び司書資格の有無】 ・係長 ・司書 10名	文献複写業務において、司書資格は必須。 自前の蔵書検索システムやNIIのシステムの普及により、資格が無くとも図書館業務が可能となりつつあるが、司書資格は基礎となる知識であり、多様な利用者からの要望に対して幅広い対応が可能となる基礎知識として必須。 しかし、最近の電子ブック、データベース、リポジトリ構築など資料形態の移行に伴い、司書としての業務の守備範囲は広がる一方であるが、対応出来ていないと思われる。 また、学内での部署移動も併い、専門職が育たない。	組織として大きければ必ず必要とは思えないが、最低限の人数で運営している場合は、カウンター業務(レファレンス)も行うため、司書資格を有しているのが望ましい。

	館員は何名ですか？(館長・アルバイトは除く、但し派遣職員は含む)	学生数、学部数及び学科数を教えてください。	館員の職務内容、専任・嘱託・派遣の内訳、役職及び司書資格の有無について教えてください。	司書資格の必要性や問題点について教えてください。	課長は管理業務が主となりますが、司書資格は必要と思われますか？その理由を教えてください。
広島国際学院大学	5名	【学生数】 大学院：15名 学部生：715名 合計：730名 【学部数】 2学部3学科 工学部－生産工学科 情報文化学部－情報デザイン学科、現代社会学科	* 司書資格ありは○、なしは× 【課長】1名：専任(○) 【受入、参考】 1名：専任(○) 【目録】1名：嘱託(○) 【閲覧】1名：パート(×) 【雑誌】1名：パート(○)	【必要性】 司書資格は必要と思う。目録業務、ILL業務等は専門知識が必要である。 【問題点】 1. 図書館司書の知識だけでは図書館の業務は成り立っていない。ある程度の図書館システムなどの知識を持っていたり、ホームページの管理ができる職員も必要となってきている。 2. 人事異動の際、司書資格を持っている職員が他部署へ行き、司書資格のない職員が回ってくる事もある。	課長は司書資格は必要と思う。専門分野で担当職員から指示を求められた場合、専門知識が必要である。しかし、人事異動ができていない状況になっている。
広島修道大学	15名	6,121名 5学部 10学科	専任職員 15名 管理職 4名 受入 2名 閲覧 6名 参考 1名 全般 2名 司書資格保有者 7名	図書館の基本的な知識を修得していることは業務上必要なことです。ただ、本学の場合司書であっても異動の対象となります。	司書資格の有無にかかわらず図書館の歴史、資料管理、生涯教育等について学んでおくことは必要だと思います。
広島女学院大学	7名 (内1名：半日勤務)	【学生数】 大学院：20名 大学：1,418名 合計：1,438名 【学部数】 2学部4学科 国際教養学部－国際教養学科 人間生活学部－①幼児教育心理学科②管理栄養学科③生活デザイン・建築学科	* 司書資格有は○ 【課長】1名：専任(○) 【参考】1名：特任(○) 【受入】1名：専任(主任：○) 【目録】1名：専任(○) 【閲覧】1名：嘱託(○) 【雑誌】1名：派遣(○) 【選及】1名：嘱託(○)[半日勤務]	【必要性】 ① 司書課程がある大学図書館で、司書資格がない職員が勤務することは、学生教育にも影響する。(授業時にガイダンスや図書館実務体験を実施する為)② 無資格の職員が図書館業務を担当すると、学生や教員の質問に即答できないこともあり、サービスの低下が懸念され、大学の教育方針が問われる。③ 図書館職員は、他課の事務職員とは違い専門職である。資格を取らなくても図書館業務をしながら勉強したらよいと言われるが、専門性の高い主担業務の傍ら独学で学ぶのは厳しいと考えられる。図書館業務は基本的な知識を持った上に経験を積み重ねて、スキルアップしていくことが必要とされる業務である 【問題点】 図書館としては、課長、レファレンス担当、受入担当、目録担当は司書資格が不可欠であると考えられる。そのためこの4名は人事異動の対象外にしないと、図書館運営に支障が出ることになる。その一方で、職員が図書館に固定化することが危惧される。	課長は各担当者の業務内容を理解していないと課員の相談にのることができないし、課の運営をする上でも専門的知識を必要とする(電子ジャーナル・データベースの構築、蔵書構成など)。また課長も図書館見学ツアーやガイダンス等も担当するので、司書資格を持っていた方が望ましい。
広島都市学園大学	宇品館 3名 西風館 2名 計 5名	学部 2 学科 3 学生数 987人	5名の内訳 図書館事務課長 1名(資格なし) 図書館職員(専任) 4名(資格あり) 職務内容 図書館運用に関わる職務全般	【司書資格を持つことの必要性】 図書館業務を行う上で図書館に係る専門知識技術は必須であるため、司書資格を取得する過程で身につける知識は必要最低限持つておかなければならないから。 【司書資格を持たない者が図書館職員となることの問題点】 本学に関して言うと本学図書館は小規模であり、少人数で運用しているため、各職員が業務全般を行う必要がある。そのような状況において司書としての専門的知識がなければ業務に支障が出てくるから。	司書資格を持っていることが好ましいが、必ずしも必要であるとは考えていない。 図書館司書としての知識経験よりも、管理業務を行うにはMBA的な知識技術が優先されるため。
広島文化学園大学	【館員数】館員合計：3名 【館員数内訳】 呉 郷原/広島坂キャンパス図書館：1名 呉 阿賀キャンパス図書館：1名 広島 長束キャンパス図書館：1名	【学生数】 大学院：60名 大学：1,448名 短期大学：488名 合計：1,996名 【学部数】 呉 郷原/広島坂キャンパス：1学部2学科 呉 阿賀キャンパス：1学部1学科 広島 長束キャンパス：1学部2学科 短期大学3学科	【館員の職務内容】 図書館業務全般 【専任・嘱託・派遣の内訳、役職及び司書資格の有無】* 司書資格有は○ 呉 郷原/広島坂キャンパス 専任1名：(主任司書：○) 呉 阿賀キャンパス 専任1名：(主任：○) 広島 長束キャンパス 専任1名：(係長：○)	【必要性】 利用者の問い合わせに対応するためには専門的な知識が不可欠 【問題点】 資格取得が比較的容易であるため、重要視されにくい	少人数で運営している図書館は、課長でも管理業務以外の図書館実務に携わる機会が多くなるため特に必要と思われる。 また、他の部署に対して図書館について説明する際にも専門的な知識が必要であるため司書資格は必要である。
広島文教女子大学	6名	【学生数】 大学院：15名 大学：1,222名 合計：1,237名 【学部数】 1学部5学科 人間科学部－①初等教育学科②人間福祉学科③心理学科④人間栄養学科⑤グローバルコミュニケーション学科	* 司書資格有は○ 【事務長】1名：専任(○) 【業務全般】1名：専任(主任：○) 【受入】1名：非常勤(○) 【目録】1名：非常勤(○) 【雑誌】1名：非常勤(○) 【閲覧】1名：非常勤(○) 【6時間勤務】：時間外担当	【必要性】 ① 司書資格者を採用することにより、採用の時点で図書館業務に必要な最低限の資力が保障される② 図書系職員の研修は全国的に体系化されているので、個々の職員のスキル向上が期待できる。③ 図書館の資料やサービスに関して教育研究の支援に必要な知識や能力は、専門職であったほうが大学にとって資することの質が高くなる。 【問題点】 ① 人事が固定化してしまうと業務の改善や新規事項が進まなくなることがある。② 職場のローテーションをしたほうが職員本人のためになることがある。	① 大学図書館の業務は、その大学内で完結するのではなく、国内・国外を含めたシステムでサービスを展開しており、それに関与できる課長であることが必要である。 ② 図書館業務の基盤には、国内外の研究者、教育者などアカデミックな専門家集団が存在するのでそれらと連携のとれる課長であることが必要である。 ③ 他大学や他機関の図書館の課長には司書資格者が多いので、それらの図書館との連携において支障がないようにしておくのが大学にとって必要である。

	館員は何名ですか？(館長・アルバイトは除く、但し派遣職員は含む)	学生数、学部数及び学科数を教えてください。	館員の職務内容、専任・嘱託・派遣の内訳、役職及び司書資格の有無について教えてください。	司書資格の必要性や問題点について教えてください。	課長は管理業務が主となりますが、司書資格は必要と思われるか？その理由を教えてください。
福山大学	本館：5名 分館：2名(内1名6時間勤務)	【学生数】 大学院：40名 学部：3,352名 合計：3,392名 【学部数】 5学部14学科 経済学部－①経済学科 ②国際経済学科③税務会計学科 人間文化学部－①心理学科 ②人間文化学科 ③メディア・映像学科 工学部－①スマートシステム学科②建築学科 ③情報工学科④機械システム工学科 生命工学部－①生物工学科②生命栄養科学科 ③海洋生物課学科 薬学部－薬学科	* 司書資格有は○(6名) 本館：5名 【事務長】1名：専任(○) 【総務係長】1名：専任(○) 【図書】1名：専任(○) 【雑誌・ILL】1名：専任(○) 【閲覧】1名：派遣(○) 分館：2名 【図書】1名：派遣(○) 【雑誌・ILL】1名：非常勤[6時間勤務]	単純な発注、受入、貸出返却等、機械的作業は事務員でも対応できます。しかし、司書は、その対象となる利用者(学生・教員)の目線で、どんな本(内容)を提供するべきか、どんな装備(分類)をするべきか、どうやって案内(周知)するべきか等考えながら毎日業務を遂行しています。利用者指導においても、学生の将来の自主学修につながるような、指導を行っています。雑多に存在する情報を的確に仕分けし、利用者の求めに応じた情報(内容)を的確な場所に置き提供する。利用者が本を探すのではなく、本の内容を的確に探すための努力を日々積んでいるのが司書だと考えます。 大学図書館では、学校図書館とは違い、本の貸借数を主たる目的とするのではなく、多くの情報源のなかから得られた情報が、信憑性のある情報か否か、また利用者に提供できるかものかどうかを判断する能力が求められます。この能力は短期間で培われるものではありません。よって、大学図書館には本・情報を熟知した専門の司書が必要だと考えます。	課長は主に課員の管理と他部署との連絡係のような役割と認識しています。しかし、図書館として、機能していくためには、それプラス、本来もつ大学図書館のあるべき姿を熟知している事、他館との連携が取れる事が重要事項だと認識しています。
福山平成大学	3名	【学生数】 大学院：10名 助産学専攻科：10名 大学：1,198名 合計：1,218名 【学部数】 3学部5学科 経営学部－経営学科 福祉健康学部－①福祉学科②こども学科③健康スポーツ科学科 看護学部－看護学科	* 司書資格有は○ 【事務長】1名：兼任(事務局長を兼任) 【参考・受入・目録・閲覧・雑誌】1名：専任【参考・受入・目録・閲覧】1名：専任(○)	司書資格を持っている職員は必要だが、必ずしも全員が資格を持っている必要はないと考えています。	必要とは思わない。
安田女子大学	15名 (職員4、専門職員3、パートタイム職員8)	【学生数】 大学院：33名 大学：4,440名 合計：4,473名 短期大学：304名 【学部数】 7学部12学科 短期大学	司書資格有は○(15名中9名) 【課長】(専任)1名：○ 【情報処理】(専任)1名：○ 【受入】(専任)1名：○ 【整理】(専任)2名：○ ○ 【閲覧】(専任)1名：○ (パート)3名：○○○ 【参考】(専任)1名：○ 【業務全般】(パート)5名	図書館運営に携わる際に、出発点として資格はあった方がよい。業務内容によっては必修とまでは言えない業務もある。経験を重ねることにより錬成される部分も多い。	あった方が、課内理解・業務理解が進みやすい。資格は出発点と捉えたい。
近畿大学工学部	5名	【学生数】 大学院：73名 大学：2,077名 合計：2,150名 【学部数】 1学部6学科 工学部－①化学生命工学科②機械工学科③情報工学科④建築工学科⑤電子情報工学科⑥ロボティクス学科	* 司書資格有は○ 【課長】1名：専任(×) 【参考・受入・選及・その他】1名：嘱託(×) 1名：契約(○) 1名：契約(×) 【雑誌】1名：派遣(×) ※【閲覧・目録】は委託業者	館員の司書資格の必要性は高く、取得を推奨しています。司書資格がないことによる大きな問題点は特にありません。	管理職の司書資格は必須とは思っておりません。人事異動が定期的に行われることが理由の一つです。
海上保安大学校	3名 (内1名：パートタイム再任用)	【学生数】 本科：195名 【学部・学科数】 本科のみ	* 司書資格受有者なし(0名) 【専門官】1名：専任 【専門員】1名：専任 【係員】1名：専任(パートタイム再任用)	【必要性】図書館業務については、司書資格が必要と考えられるが、当校の場合、通常2～3年で人事異動があるため、継続的に有資格者を配置することは困難である。 【問題点】現状では、当館においては、司書資格を持つ者がいないので、目録システム講習会などの個別の研修を受けた者が、所要の対応をしている。	当館には課長ポストはないが、図書館を運営していくうえで、管理・監督者の立場の者は相応の資格を有していないと部下の業務の把握、指導・助言が困難となることから、司書資格を有していることが望ましいと考える。
山陽女子短期大学	1名	人間生活学科 83名 食物栄養学科 108名 臨床検査学科 130名 合計 321名	職務内容：選書・受け入れ・図書費管理・レファレンス 内訳：専任1名 役職及び資格：司書、資格有り	司書の立場から図書館業務には、司書資格は必須と考えます。共有する知識のもとでの仕事が効率もよいからです。問題点を強いて言えば、資格を取らせることへの時間的、経済的負担を管理者が重荷に思うこと(有資格者ならば問題はありません)	課長が図書館業務を理解するには、有資格者が望ましいと思います
鈴峰女子短期大学	2名(専任)	3学科(187名)C 【学生数】 短大：187名(2年生のみ) 【学科数】 3学科 食物栄養学科 保育学科 キャリア創造学科	【課長】1名：専任(無) 【事務職員】1名：専任(無)	【必要性】 図書室では専門性の高い高等教育機関では、司書の必要性が大きいと考えてる。 【問題点】 司書の退職に伴い、2年前の夏に図書の事務職員に司書の夏期講習で司書の資格を取らせたが、昨年3月末の人事で高校の図書室へ異動となった。司書の必要性があるための資格取得と思えたが、結局、有資格者がいない状況にある。本学も残すところ一年となり、位置づけも図書館から図書室に変更となっているため、司書が配置されていないのかもしれないが、学生へのサービス面が低下しているのではないかと心配している。	現在、図書室で勤務しているが、学生課長も兼務となっている上、管理業務だけでなく、発注・受入・登録・配架・レファレンス等すべてを受け持っている。短期大学のような少人数の図書館では司書資格は必要不可欠であり、規模の大きい大学でも全体を把握する上では必要だと思われる。

	館員は何名ですか？(館長・アルバイトは除く、但し派遣職員は含む)	学生数、学部数及び学科数を教えてください。	館員の職務内容、専任・嘱託・派遣の内訳、役職及び司書資格の有無について教えてください。	司書資格の必要性や問題点について教えてください。	課長は管理業務が主となりますが、司書資格は必要と思われますか？その理由を教えてください。
呉工業高等専門学校	6名 (内4名：時間勤務)	【学生数】 専攻科生：49名 本科生：848名 合計：897名 【学科数】 本科：4学科 ・機械工学科 ・電気情報工学科 ・環境都市工学科 ・建築学科 専攻科：1専攻科 ・プロジェクトデザイン工学専攻	【係長】1名：併任 【図書・情報】1名：専任(○) 【図書】1名：非常勤[時間勤務] 【図書】2名：非常勤(○)[夜間、土日勤務] 【情報】1名：非常勤[時間勤務]	【必要性】 専門知識を有し、図書館での実務経験も豊富な司書の存在が、選書や蔵書構築、読書活動、教育や研究活動への充実した支援のために必要であると考えます。ただ、本校の図書館では、情報関係業務を主として担当する職員も必要のため、司書資格を必須とはしていません。 【問題点】 人事異動があるため、司書資格を有する職員のみで構成することや専任の職員が長期にわたって図書館での経験を積むことは難しい状況です。	管理業務が主となるため、特に必要とは考えておりません。
広島商船高等専門学校	3名(そのうち図書館常駐：2名)	【学生数】 本科：718名 専攻科：23名 合計：741名(2016年5月1日現在) 【学科数】 3学科 ・商船学科 ・電子制御工学科 ・流通情報工学科	*司書資格有は○ 【総務課長兼図書係長】1名：兼務 【主任】1名：専任(○) 【非常勤職員】1名：専任 館員(図書館常駐：2名)の職務内容：図書館業務全般ILL関係、古い資料の目録作成、廃棄・移管処理などは主任が行う	【必要性】 業務に責任を持つ上で、資格の必要性は感じている。ただ、学校の種類や運営体制等が違えば、優先事項では無い。 高専図書館は、大学よりも学生との距離が近く、学習や生活の面で学生を支える場である。進学・就職の悩みを聞きながら参考になる資料と一緒に探し、授業や資格取得の予定を聞きながら選書を行う。日常業務は、学生とコミュニケーションをとり柔軟に対応(アドバイス)する力や意欲などが面で、資格の必要性は比較的低いように思う。 (とはいえ、古い資料を扱う場合や廃棄等、資格がある方がスムーズな業務もある。本校では、有資格者が処理した方がスムーズな業務、資格の有無に関わらず覚え(経験で)処理できる業務とに整理し、館員で分担をしている。工夫をすれば、運営に支障はない。)	どちらでもよい 資格の有無に関わらず、実務担当者が、課長に事情を説明、相談できるようであれば、問題無いように思う。(運営体制(職員数)上、課長が図書業務を経験されていない場合もある)